



私自身を ささげる恵み

聖書に学ぶ 礼拝とささげ物

アウトライン

- I. 礼拝とささげ物
- II. 律法時代のささげ物
- III. 教会時代のささげ物
- IV. ささげ物が示すメシア
- V. まとめと適用

ささげるべきは

きよめられた私自身





Ⅰ. 礼拝とささげ物

創世記他

原則 最初のささげ物 創世記3～4章

- 罪を犯したアダムとエバのため、
主は動物を屠り、皮を着せ、罪を覆われた。
- 罪の贖いには血が必要 → きれい人はいない
動物の血は代用品 → 一時的に罪を覆うだけ
- カインの過ち → 血を伴わないささげ物

犠牲を伴わない礼拝はない!!



原則 律法以前のささげ物 創世記

- 大洪水後のノアによるささげ物
- アブラハムの最初の礼拝・ささげ物
 - 契約締結時のささげ物
 - 戦利品からの十分の一のささげ物
 - ひとり子イサクのささげ物(羊が身代わり)
- 出エジプトの目的
 - ➔ 荒野でささげ物をし、主を礼拝する





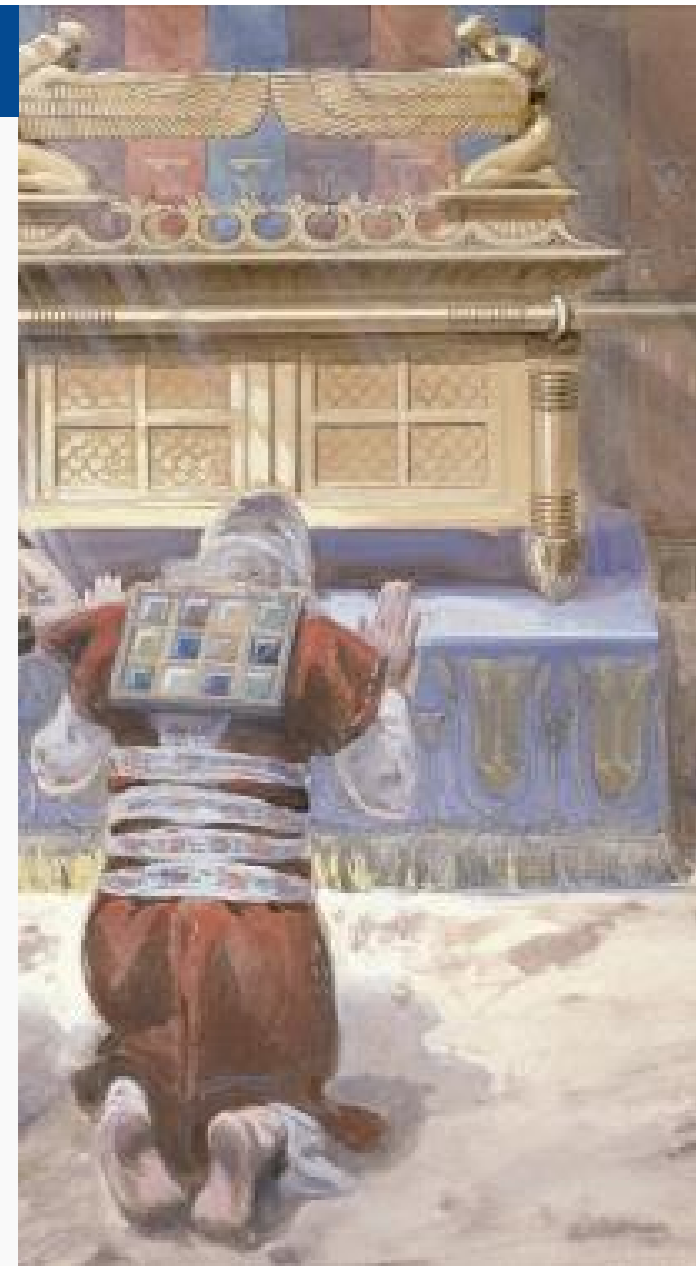
II. 律法時代のささげ物

贖いの血の原則

「レビ17:11 実に、肉のいのちは**血**の中にある。わたしは、祭壇の上であなたがたのたましいのために宥めを行うよう、これをあなたがたに与えた。いのちとして宥めを行うのは**血**である」

- 律法が定める礼拝は、動物の**犠牲**が必須。
 - ➔ 穀物、パン、葡萄酒等は、あくまで付属

律法でも、犠牲を伴わない礼拝はない!!



イスラエルに課されたささげ物

■ 申命記12:6

あなたがたは全焼のささげ物、いけにえ、十分の一、あなたがたが供える奉納物、誓願のささげ物、進んで献げるもの、あなたがたの牛や羊の初子をそこに携えて行きなさい。

■ イスラエルが召し出されたのは、**祭司の民**となるため。

➔ **ささげ物を伴う礼拝**は、イスラエルに課された重大な責務

犠牲を伴う礼拝は、祭司の民に課された使命

旧約時代のささげ物

- 全焼のささげ物 …すべて神にささげた。➡最上のささげ物
 - ◆ 罪のきよめのささげ物
 - ◆ 代償のささげ物
- 和解のささげ物 …重要な部分は神へ。後は自分たちで食べた。
➡主との和解の食卓
- 穀物・葡萄酒のささげ物 …犠牲の動物と一緒に献げた。

犠牲の動物をささげるのが、礼拝の中心

その他のささげ物

- 羊、ヤギ、牛の初子のささげ物。(※人、馬、ロバは身代わり)
- 出生、成人の時ささげ物。(※人生の折々の節目でも)
- 収穫物の十分の一。牛、羊の十頭に一頭。
- 誓願に伴うささげ物。…年齢、性別に応じて
- 民のささげ物の一部(十分の一)は、レビ人、祭司へ。
→ レビ人、祭司は、さらに十分の一をささげる

ささげ物に準ずる規定

- 落ち穂 …社会的弱者の救済のため、収穫物をあえて残す。
 - 安息日(7日ごと) …家畜や奴隷を休ませる
安息年(7年ごと) …土地を休ませる。
ヨベルの年(50年ごと) …あらゆる負債の免除。完全な休耕。
 - 献げ物の一部は祭司をまかなうため。祭司自身も民同様に献げた。
- ※王のための使役、献金は別。…神殿建設、維持、王宮の経費全般。

異なったささげ物

■ 出エジプト記 30:9

「あなたがたはその上で、異なった香や全焼のささげ物や穀物のささげ物を献げてはならない。また、その上に、注ぎのぶどう酒を注いではならない。」

■ アロンの二人の子は、異なる香を焚き、命を絶たれた。(レビ10章)



主に定められたものを 定められた通りにささげる

主が最も喜ばれるささげ物

■ サウルへのサムエルの罪の宣告 | サムエル15:22~23

「【主】は、全焼のささげ物やいけにえを、【主】の御声に聞き従うことほどに喜ばれるだろうか。見よ。聞き従うことは、いけにえにまさり、耳を傾けることは、雄羊の脂肪にまさる。

従わないことは占いの罪、高慢は偶像礼拝の悪。あなたが【主】のことばを退けたので、主もあなたを王位から退けた。」

■ イスラエルが陥った最大の罪が、主の御声に逆らったこと

→結果が、占いや偶像礼拝

主が最も喜ばれるささげ物は、主の御声に聞き従うこと!!



III. 教会時代のささげ物

やもめの献金とメシアの教え

■ イエスの教え マルコ12:43~44

「まことに、あなたがたに言います。この貧しいやもめは、献金箱に投げ入れている人々の中で、だれよりも多くを投げ入れました。

皆はあり余る中から投げ入れたのに、この人は乏しい中から、持っているすべてを、生きる手立てのすべてを投げ入れたのですから」

■ やもめが示したのは、主への**全的信頼**

主が喜ばれるのは、犠牲を伴う主への信頼



どんなささげ物より、すぐれたこと

■ 律法の真髄 マルコ12:33

「そして、心を尽くし、知恵を尽くし、力を尽くして**主を愛すること**、また、**隣人を自分自身のように愛することは**、どんな全焼のささげ物やいけにえよりもはるかにすぐれています。」

■ 律法が教える、二つの愛

- ① 神を愛し
- ② 隣人を愛する

神と人への愛こそ、最高のささげ物



信仰は行いを伴う

■ 行いのない信仰は死 ヤコブ2:15～17

「もし、兄弟また姉妹のだれかが、着る物がなく、また、毎日の食べ物にもこと欠いているようなときに、あなたがたのうちだれかが、その人たちに、「安心して行きなさい。暖かになり、十分に食べなさい」と言っても、もしからだに必要な物を与えないなら、何の役に立つでしょう。

それと同じように、信仰も、もし行いがなかったなら、それだけでは、死んだものです。」

■ 愛と信仰には、行い。礼拝には、ささげ物が。



与えるほどに、与えられる

■ ルカ福音書6:38

「与えなさい。そうすれば、あなたがたも与えられます。詰め込んだり、揺すって入れたり、盛り上げたりして、気前良く量って懐に入れてもらえます。あなたがたが量るその秤で、あなたがたも量り返してもらえるからです」

「まず神の国と神の義を求めなさい。そうすれば、これらのものはすべて、それに加えて与えられます。マタイ6:33」



主にささげ、他者に与えられるのは、主に信頼しているからこそ

他者への施しは隠れて

■ マタ 6:1～4

「だから、施しをするときには、人にほめられたくて会堂や通りで施しをする偽善者たちのように、自分の前でラッパを吹いてはいけません。まことに、あなたがたに告げます。彼らはすでに自分の報いを受け取っているのです。あなたは、施しをするとき、右の手のしていることを左の手に知られないようにしなさい。あなたの施しが隠れているためです。そうすれば、隠れた所で見ておられるあなたの父が、あなたに報いてくださいます。」

■ 他者への施しは、隠れて行う → 人からの評価を目的にしない

※主へのささげ物は、公的な場でなされた。やもめの献金

奉仕者を支えるささげ物

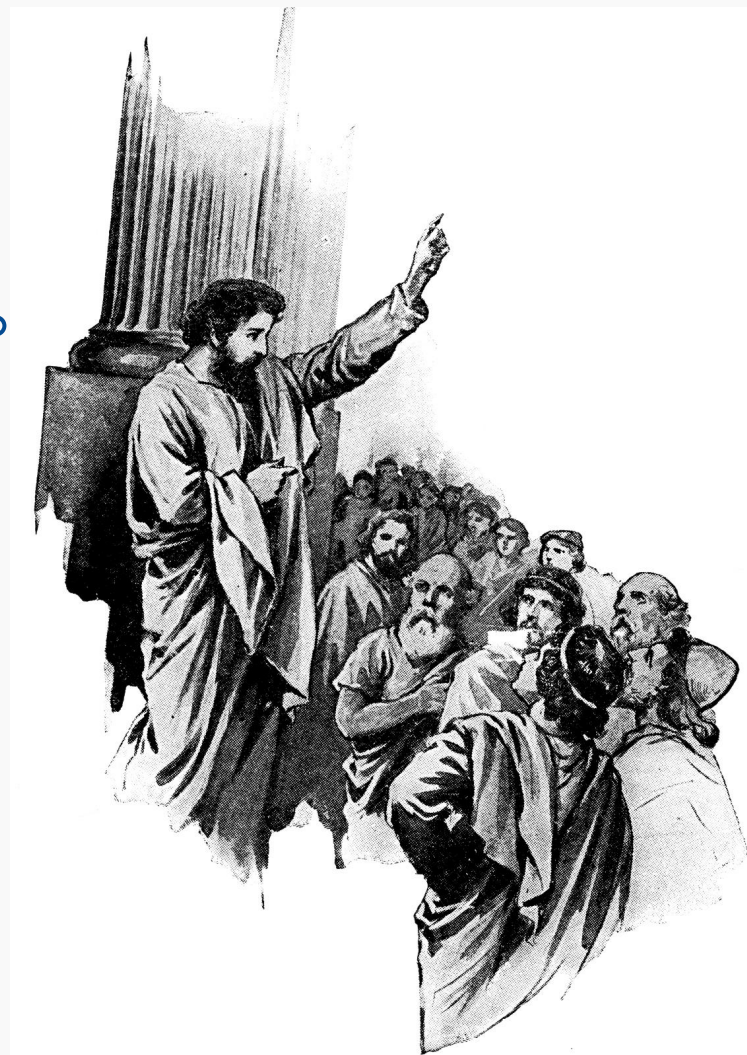
■ 1 コリ 9:13~14

あなたがたは、宮に奉仕している者が宮から下がる物を食べ、祭壇に仕える者が祭壇のささげ物にあずかることを知らないのですか。

同じように主も、福音を宣べ伝える者が、福音の働きから生活の支えを得るように定めておられます。

■ 律法時代の祭司は、ささげ物で生活した。

➔ 教会時代の専従伝道者も同様



他から得ていたパウロの伝道資金

■ II コリ11:7~8

それとも、あなたがたを高めるために自分を低くして、報酬を受けずに神の福音をあなたがたに宣べ伝えたことで、私は罪を犯したのでしょうか。

私は他の諸教会から奪い取って、あなたがたに仕えるための給料を得たのです。

■ コリントの自給伝道は、霊的幼子への配慮

→ 実態は他教会に支えられていた



心で決めた通り？

■ Ⅱコリ 9:7

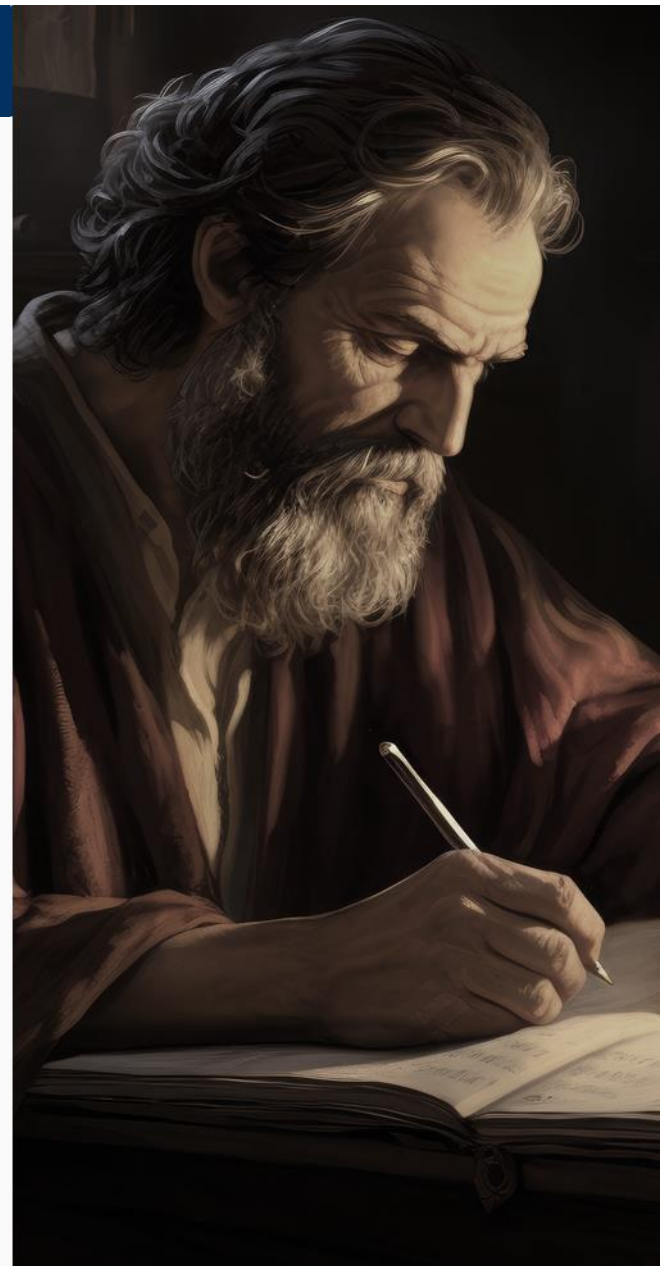
一人ひとり、いやいやながらでなく、強いられてでもなく、**心で決めたとおりに***にきなさい。神は、喜んで与える人を愛してくださるのです。

■ コリント教会の人々が**自発的に決めた***

エルサレム教会のための献金が滞っていた。

■ 自発的でなければ、ささげ物は無意味

➔ 主の前で決めたことは果たすべき!!



異邦人信者の義務

■エルサレム献金の背景 ロマ15:27

彼らは喜んでそうすることにしたのですが、聖徒たちに対してそうする義務もあります。異邦人は彼らの霊的なものにあずかったのですから、物質的なもので彼らに奉仕すべきです。

■契約の恵みに接ぎ木されたのが異邦人信者。

➔メシアニックジューへの物的奉仕は義務

■ユダヤ人の救いのため、メシアニックジューの教会を支えるため、ささげよう。





IV. ささげ物が示すメシア

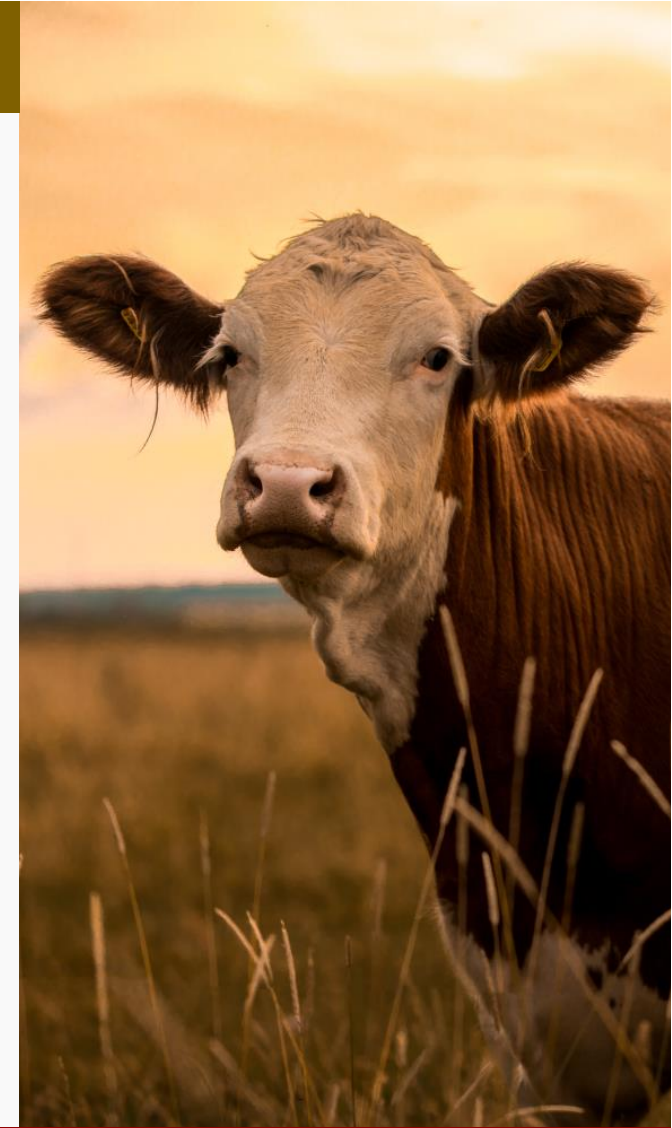
傷のないささげ物

■ レビ記 1:3~4

そのささげ物が牛の全焼のささげ物である場合には、傷のない雄を献げなければならない。その人は自分が【主】の前に受け入れられるように、それを会見の天幕の入り口に連れて行き、その全焼のささげ物の頭に手を置く*。それがその人のための宥めとなり、彼は受け入れられる。

■ 傷のない全焼のささげ物に、罪が転嫁*

人類の罪を転嫁される、傷のない完全なささげ物 →メシア



種なしパン 罪なきささげ物

■ レビ記 2:11

あなたがたが【主】に献げる穀物のささげ物はみな、パン種を入れて作ってはならない。パン種や蜜は、少しであっても、【主】への食物のささげ物として焼いて煙にしてはならない。

■ パン種 → 罪の象徴

■ 過越祭(除酵祭)でも、種なしパンを食べる

→ 「これは、わたしの体である」

→ 種なしパンは、贖いのメシアの象徴



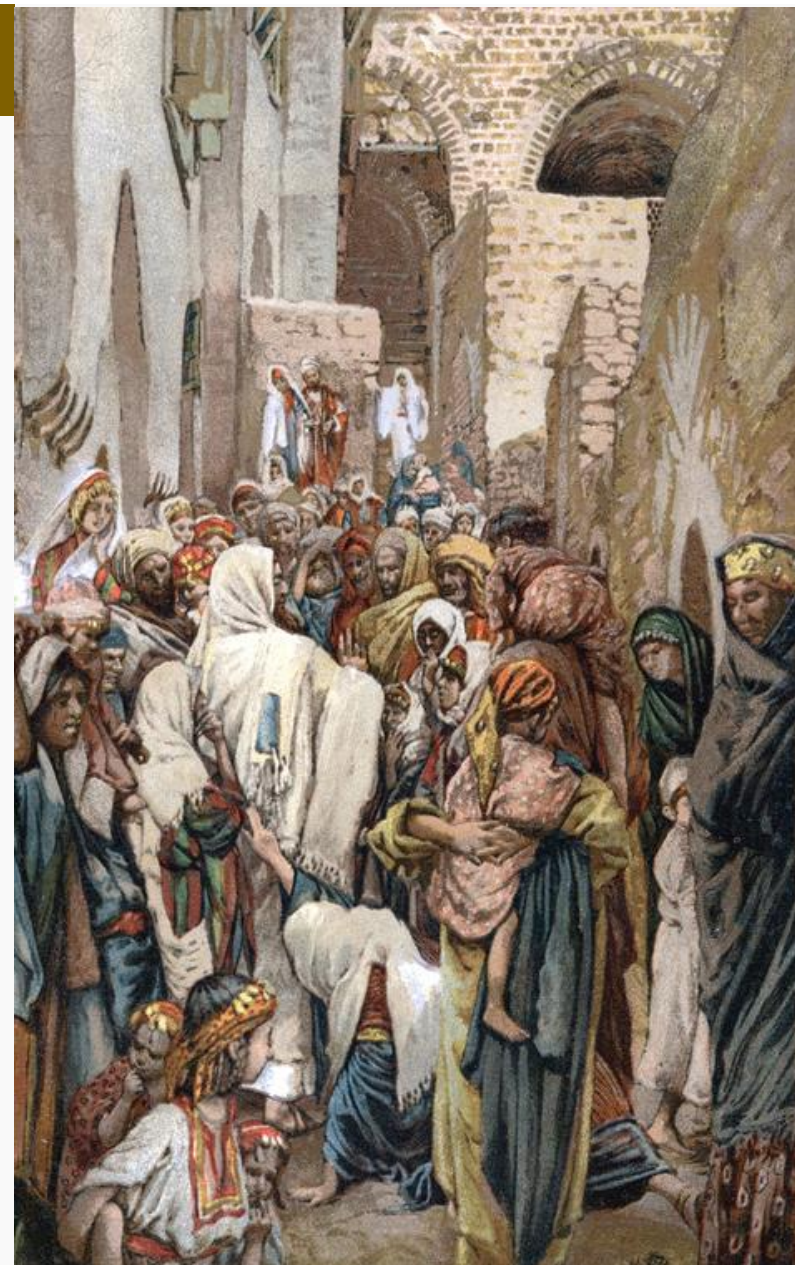
メシアの使命

■ 罪人を招くメシア マタイ9:13

「『わたしが喜びとするのは真実の愛。いけにえではない(ホセア6:5)』とはどういう意味か、行って学びなさい。わたしが来たのは、正しい人を招くためではなく、**罪人を招くため**です。」

■ 初臨のメシアは、**贖罪**のために来られた

➔ **十字架で人の罪を贖うため**



究極の完全なささげ物

■メシア預言 イザヤ 53:10

しかし、彼を砕いて病を負わせることは【主】のみこころであった。彼が自分のいのちを代償のささげ物とするなら、末長く子孫を見ることができ、【主】のみこころは彼によって成し遂げられる。

■イスラエルと人類の罪を贖う

➡究極のささげ物が、メシア



永遠の完成をもたらすささげ物

■ キリストによる完成

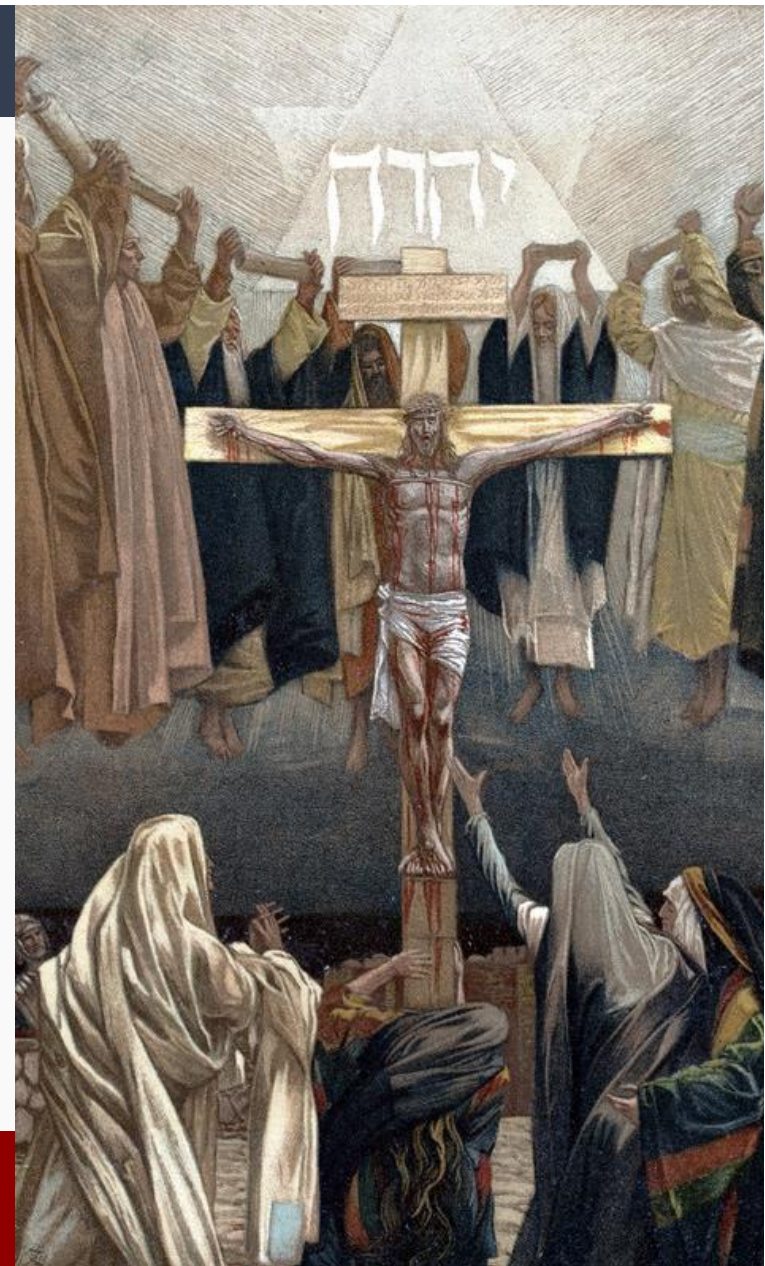
「なぜなら、キリストは聖なるものとされる人々を、一つのささげ物によって永遠に完成されたからです。ヘブル 10:14」

「罪と不法が赦されるところでは、もう罪のきよめのささげ物はいりません。ヘブ10:18」

■ 究極のささげ物が、イエス・キリスト

➔ 十字架で、救いの御業は成し遂げられた

罪のきよめのささげ物は、永遠に不要





IV. まとめと適用

ささげるべきは、きよめられた私自身

十分の一献金について

- 律法の定める様々なささげ物の一つが、十分の一のささげ物
- メシアが十字架の御業を成し遂げた時、律法の役目は終わった。
→ 十分の一のささげ物の規定も同様
- 今の教会時代のささげ物は、キリストの律法に基づくべき
適用) 一つの目安とするのはよいが、義務とはならない
十分の一献金をしているから十分、ともならない

今の時代のささげ物の原則とは？

ささげ物の本質から考えよう!!

- はじめ、人間は神と一体だったが、罪により神と断絶。
- 罪を一時的に覆う動物の犠牲は、人間の身代わり。
 - ➔本来ささげるべきは、自分自身
- 主イエス・キリストが、罪なき身を究極の犠牲とされた。
 - ➔十字架の死と復活の贖いを信じる者は、罪をきよめられる。
- キリストに贖われ、きよめられた者として主が受け取られる。

救いによる最大の恵みは、私自身を主にささげられること

■ ヨハネ福音書4:23～24

「しかし、まことの礼拝者たちが、御霊と真理によって父を礼拝する時が来ます。今がその時です。父はそのような人たちを、ご自分を礼拝する者として求めておられるのです。」

■ ローマ 12:1

ですから、兄弟たち、私は神のあわれみによって、あなたがたに勧めます。あなたがたのからだを、神に喜ばれる、聖なる生きたささげ物として獻げなさい。それこそ、あなたがたにふさわしい礼拝です。

私自身をささげることこそ、信仰者にふさわしい礼拝

新生した者として御霊に委ねて歩む

ローマ12:1~5

■ローマ12:2

この世と調子を合わせてはいけません。むしろ、心を新たに*することで、自分を変えていただきなさい。そうすれば、神のみこころは何か、すなわち、何が良いことで、神に喜ばれ、完全であるのかを見分けるようになります。

■信仰により新生した*私は、御霊に委ね、満たされ、変えられる。

■日々、御言葉に従い歩む過程で、なすべきことを教えられる。

➡示されたら行動 トライ&エラーの中で成長させられていく

主に従い、変えられつつ、聖化の過程を歩んでいるか？

キリストのからだの一つの小さな器官として ローマ12:1~5

■ ローマ12:3~5

私は、自分に与えられた恵みによって、あなたがた一人ひとりに言います。思うべき限度を超えて思い上がってははいけません。むしろ、神が各自に分け与えてくださった信仰の量りに応じて、慎み深く考えなさい。

一つのからだには多くの器官があり、しかも、すべての器官が同じ働きをしてはいないように、大勢いる私たちも、キリストにあって一つのからだであり、一人ひとり互いに器官なのです。

■ キリストの体の一部として信仰の成長に応じた働きが与えられる。

主が私に与えられた小さな働きに、へりくだって力を注ごう

★ ささげるべきは、きよめられた私自身 ★

- 傷としみだらけの私が、福音の恵みによってきよめられた。
私自身をささげるなら、主が喜んで受け取ってくださる。
- 求められているのは、私自身を主の働きにささげること。
献金は、献身の一つの形。礼拝は、私の生涯そのものだ。
- 御言葉と御霊を通して促される、キリストの体の器官としての働きに、へりくだって用いられているのかどうか。

主に私自身を感謝してささげ、喜んで用いられていこう

てん とう つみ
「天のお父さま。わたしの罪をゆるしてください

かみ こ
わたしは、神のみ子イエス・キリストが、

① わたしの罪を贖うために十字架で死に、

はか ほうむ
② 墓に葬られ、

みっかめ ふっかつ しん
③ 三日目に復活したこと、を信じます。

しゅ め しゅ う と
主の目にきよいものとして、主が受け取ってくださいますから、

かんしゃ わたしじしん よろこ み
感謝して、私自身をおささげします。喜びで満たしてください。

いちぶ しゅ あた ちい はたら
キリストのからだの一部として、主に与えられた小さな働きに、

もち もの
へりくだって、用いられていく者としてください。

しゅ な いの
主イエス・キリストのみ名によって祈ります。 アーメン」